

作って!学ぶ!鳥たちのなぞ!

～素敵なモチーフを作りましょう～

富山市立堀川小学校 七澤 智香子

08

● 鳥たちの秘密

鳥と言えば、絵本に登場する生き物、キャラクターやイラストなどで描かれている鳥は、とても身近な生き物です。現在何種類ぐらいの鳥が地球上にいるかご存知ですか。その総数は1万種前後と言われています。また、鳥たちの特徴と言えばどんなことが思いつくでしょうか。前肢は翼になっていて空を飛翔できて後肢で二足歩行を行う、体に羽毛を持つこと、卵から産まれる、くちばしがあり歯がないものが多いことなどさまざまな特徴があります。しかし、空を飛ぶのをやめた鳥たちもいますが、もとは飛べる種から発生したと考えられています。そんな、鳥の身体のなぞと素晴らしさ、美しさを楽しんで見つめてみましょう。

● いろいろな鳥の紹介

・クジャク(ピーファウル)

クジャクは、華やかな羽根をもっています。しかし、1年中いつでも見られるわけではなく、3～6月下旬繁殖期の間だけ見ることができます。この時期になるとオスは単独で行動し、飾り羽根を立て、扇の形に目一杯広げて、メスの前でアピール(求愛行動)をします。繁殖期を過ぎると、約1か月間抱卵します。その頃オスは、飾り羽根が徐々に抜け落ち、やや寂しい姿になりますが、1年後の繁殖期が近くなると、生えてくる仕組みです。また、コブラに噛まれてもサソリに刺されても大丈夫という珍しい生態をもっています。クジャクは、これらの毒に対する耐性をもっているため、少量であれば体の中で無害化してしまうのです。クジャクは悪食で、何でも食べてしまう性格です。他の生物が避ける毒蛇や毒虫もよく食べます。人間にとって都合の悪い存在を食べてしまうことで生息域では大切にされることが多いようです。

・ダチョウ(オーストリッチ)

ダチョウは足が頑丈で、平均時速約60kmで走り持久力もあります。地上を走る鳥類の中では世界一の速さです。しかし、ダチョウは飛べない鳥類です。その理由は、体の構造にあり、ダチョウは飛行に必要な筋肉が貧弱で、それを支える骨部分(竜骨突起)もありません。また、ふわふわで左右対称の羽根も、飛行に不適切なのです。ダチョウは肉・羽・革が利用されている他、卵からの抗体によりアレルギーが抑えられる効果があるなど、今後、感染症対策などで重要性が増していくことと考えられ、「身近な鳥」という印象はない鳥ですが、もしかしたらマスクやのど飴でお世話になっているかもしれません。

・カモメ(シーガ)

描いた海にイラストでよく登場するカモメ。夏のイメージが強く羽根の形は風を静かに送風する形と言われ、扇風機の羽根の形に用いられてもいますが、実はその多くは夏の間は日本にはいません。冬季には日本全国の沿岸や内湾、港、干潟などの水域で姿を見ることができます。一部の種類を除き、3月から4月のあたたかい時期になると群れを作って日本を飛び立ち、繁殖地を目指します。基本的には昼間に移動をし、湾曲した隊列を作って飛行します。似ていると言われている、カモメとウミネコですが、大きな違いとして挙げられるのは、カモメは寒くなると飛来してくる冬鳥であるのに対して、ウミネコは留鳥であり北日本で繁殖し1年を通して姿を見ることができることです。

・キジ

桃太郎のお話に登場するキジは国鳥と言われています。山地から平地の林、農耕地、河川敷などの明るい草地に生息しています。キジのオスは翼と尾羽を除いて全体的に美しい緑色の体色をしています。翼と尾羽は茶褐色で、頭部の羽毛は青緑色です。メスは全体的に茶褐色で、黒褐色の斑点があります。尾羽が長いのも特徴的です。また、オスは、繁殖期独

特の鳴き声(ケツケン)で鳴いた後に羽根を打ち付けてドドドッと音を出します。それを母衣打ちと言います。音を出してメスたちに自分の存在をアピールします。

・カワセミ

カワセミはブッポウソウ目カワセミ科カワセミ属に分類される鳥です。漢字で「翡翠」と書くように、ヒスイのような美しい体色をしていることから「飛ぶ宝石」とも呼ばれています。また、カワセミの羽根は「構造色」と言って、光によって起きる干渉で時間によってエメラルドグリーンのような輝くブルーや濃いブルーに変化して見えるのも魅力のひとつです。カワセミは繁殖期になると、オスがメスに小魚などを口渡してプレゼントします。メスがオスからのプレゼントを受け入れられて2羽は晴れて結ばれます。

・ライチョウ(サンダーバード)

ライチョウは、昭和36年(1961年)11月3日富山県鳥と指定された日本アルプスの高山帯にすむ代表的な鳥です。日本アルプスの代表的な高山鳥であるこの鳥は、特に県民が仰ぎ親しんできた霊峰立山に多く生息し「立山神の使い」として愛されています。特別天然記念物に指定され、羽根の色が夏は茶色、雪が降る冬になると白に変わります。

・フクロウ(オウル)

フクロウは、体のわりに頭部が大きく、ほかの鳥と違って目が顔の前面についているのが特徴です。また、眼球は眼窩に固定されていて視野が狭いため首を回して空間認識をしています。視野は110度にて、見える範囲に限られる為、首を左右に270°回してより広い範囲を見ようとします。野生のフクロウは生きているネズミや昆虫をエサとしており、羽音を立てずに飛ぶことから「静かに飛べる」という特技があります。フクロウが静かに飛べる理由は身体の構造にあります。静かに飛べる最大の理由は風切羽のギザギザ構造にあります。風切羽のギザギザ構造を「セレーション」といいますが、セレーションには空気を拡散する機能がある為フクロウは静かに飛べるのです。また、1枚の羽根を差し出し「どうか受け取ってください」とでも言うかのように、フクロウが自ら求愛をアピールする姿は今、話題となっているそうです。

● 鳥の羽根に親しむために

鳥の羽根やその構造はくらしの中のいろいろなところに用いられていますが、日常生活の中で触れることは少ないかもしれません。そこで、今回は実験観察だけでなく、天に向けて放つと舞い降りるコキール(鳥の羽根)とパールシャワーを用いてハッピーモチーフを作りましょう。

● 工作のしかた

- ① グルーガン等を用いて、パールシャワーにコキールを付ける。

★グルーガンからは高熱の接着剤が出てきます。火傷しないように気を付けてご使用ください。

- ② ①にスパンコールなどの計量の軽い飾りを付ける(好みの飾りを付ける)。

- ③ アロマオイルを付ける(好みで用いる)。

♥今回の工作は参考例のひとつです。皆さんのアイデアでオリジナルの作品を作ってみてください。



● もっとくわしく知るために

鳥たちのことをもっと学んでみませんか。本や図鑑、ホームページなどで調べてみてください。

